

東日本大震災 支援活動報告

江藤酸素株式会社

平成23年発災した東日本大震災に対して、江藤酸素株式会社・江藤グループとして、各種の支援活動を実施させていただきました。

【社員義援金】

社員の皆様の協力により、以下義援金を寄付させていただきました。

募金総額：215,100円

寄付先：日本赤十字社

【社員支援物資】

- ・被災地へ向け支援物資の輸送を実施。
4トントラック5台分の救援物資を寄贈しました。

【江藤酸素(株)としての取り組み】

- ・日本赤十字社に対して、100万円の寄付。
- ・日酸タナカ様の要請により、カセットフー500台・
カセットフー用ボンベ1500本を寄贈。
- ・当社災害用備蓄品（本社5Fにて保管）、酸素ボンベ（7M3：30本）、
また福岡医療発送分として、毛布・下着等を仙台宮城野病院経由で寄贈。
（同品の輸送については警察より「医療救援物資」として「緊急マーク」の
特別許可を取得）
- ・千葉県内の食糧困窮者宅へお米を寄贈。
- ・毛布・衣類などの日用品の支援。（社員・ご家族・友人などより寄贈）

【グループとしての取り組み】

- ・江藤産業が大分合同新聞福祉事業団へ100万円の寄付。
- ・江藤運輸、江藤製作所が日本赤十字社へそれぞれ50万円の寄付。
- ・毛布、衣類などの日用品の支援。（社員・ご家族・友人などより寄贈）

東北関東大震災（平成23年3月11日午後2時46分）におきまして
過去我社として、水や衣類食品などを運送会社のトラックをチャーターして運び
又現地の医療用酸素の不足を知り、酸素ビンを運送会社のトラックにて送りました。

大分のおがた泌尿器科医院の、緒方俊一院長が赤ちゃんお助け隊を結成し
東北石巻市の避難所などに訪問し、赤ちゃん 園児 小学生などに支援物資を
6年間送り続けました。

月日が経つにつれ、支援のご賛同が少なくなり、苦勞している事を知り我社として
今回の3月16～20日の訪問支援金の協力をさせて頂きました。

又我社の代表取締役会長 江藤伸一もこの支援に賛同し個人にて援助して頂きました。



【自社の災害対策の取り組みについて】

- ・ 太陽光発電（本社、大分工場、佐伯工場）
- ・ 発電機（本社、大分工場、佐伯工場）
- ・ 災害備蓄品（60人×3日間の日用品と食糧）
- ・ 営業所に避難用自転車を配備
- ・ 標識旗を海岸付近の営業所に配備